

## 演習 2 資料一覧

### ◆ 演習全体にかかる資料

受講者用	グループ討議の進め方(演習時の留意事項)	A4 1枚	課目11 演習1(ニーズの把握と対応) の資料参照
スタッフ用	演習におけるスタッフの役割と留意点	A4 2枚	

### ◆ 各演習の資料一覧

#### 【演習 2 ネットワーク活用による権利擁護演習】

受講者用	ワークシート3(事前課題含む)	A4 1枚	受講者に事前配布(※事前課題資料)
	事例シート3	A4 1枚	受講者に当日配布
	ワークシート4	A4 1枚	
受講者用	ワークシート5	A4 1枚	受講者に当日配布

## 事例シート3・グループ討議課題

### <課目11 演習1 から続く新たなエピソード>

妹の申し立てにより本人に保佐人（金融機関取引、施設入所・医療契約、不動産賃貸借・購入・売却代理権あり）、※司法書士が選任された。保佐人が定期的に生活費を届けることになり、接触が増える毎に徐々に信頼関係が構築されてきていた。

そんなある日、本人から保佐人に「母が入院しているのでこの家は私が守らなければいけない。でも夜一人で寝るのは怖い」との発言があった。サービス担当者会議で「本人が安心して暮らせる場の確保」が目標に加えられ、本人とグループホームの見学に行くことになった。

見学後、本人から「夜誰かいてくれるからここ（グループホーム）に入っても良い。ただ時々家の様子は見にいきたい」との発言があったため保佐人が契約書の作成に入った。契約書の中に「身元引受人」の欄があったので妹に確認したところ、「私も私自身と母親のことで手一杯なので、姉にはもう関わりません」との返答だった。

### 【グループ討議課題】

今後グループホームに入所するにあたって、課題としてあがりそうなことは何でしょうか？

- ① 本人、②保佐人、③グループホーム職員それぞれの立場からそれぞれ討議してください。

# ワークシート4

<当日配布資料・グループ討議>

受講者番号

氏名

今後グループホームに入所するにあたって、課題としてあがりそうなことは何でしょうか？

①本人の立場から	
②保佐人の立場から	
③グループホーム職員 の立場から	

## ワークシート5

### <追加エピソード>

本人がグループホームに入所してから1ヶ月ほどして妹から保佐人に「母は現在入院している病院から特別養護老人ホームに直接入所することになった。姉（本人）もグループホームに入所して無人となっていて維持が大変だと思うので自宅を処分してほしい」と連絡がありました。

本人が住んでいた自宅は父親死亡時の相続で母、本人、妹の共有名義になっており、本人の私物もあり週末には自宅に外出しています。

### <演習課題>

- ①それぞれの立場の主張を確認する。
- ②担当相談支援専門員（社会福祉士）が権利擁護の視点にたって何を大事にすべきかグループごとに考察する。

本人	
保佐人	
妹	
相談支援 専門員	